

# 仙台での学び 深く熱く！

2019年1月12～14日

全国障害児学級・学校学習交流集会に、兵庫から16名参加しました

..... 初日 全体会 .....



伊丹から仙台まで1時間半でひとつ飛び。福島上空を通り、海岸線に「フクイチ原発」の建物を確認しながら高度を下げていくと、仙台空港の周りは更地が延々と続いていて……。津波の爪痕を感じながら、仙台市内に入りました。

現地企画はまず、震災の恐ろしさや悲しさを歌に込めて聞かせてくださって、胸が痛くなりました。次に、原発の甚大な被害を受けた農業者の方が「安心して住み続けられて、安心して農業できる地域を取り戻す」闘いを報告され、先の長い地道な取り組みに感銘を受けました。

## 記念講演 藤井克徳さん（JD 代表） 「障害のある人が人間らしく生きるには」



養護学校義務制40年、ナチスドイツのT4作戦80年など、2019年は障害者分野でいろいろな節目を迎える年。看過できない社会情勢や事件が相次ぐ中ではあるが、憲法と障害者権利条約を暮らしに根づかせるまで、みんなのチカラで前進させようと力強く呼びかけられ、これだけでも仙台に来た甲斐があったと思えるほどの熱い講演でした。

..... 二日目・三日目 .....

「わくわくどきどき」の実践講座、レポート討議で盛り上がる分科会、和菓子作りやマジックの実技演習、そして最終日の教育フォーラムなど、盛りだくさんの学びの場が用意されていて、それぞれしっかり学ぶことができました。私は「性教育講座」に参加。性をもっと肯定的に捉えないといけないなと目からウロコ、帰宅後さっそく教材作りに火がつきました（笑）



名物牛タン  
シチューがうまかった

仙台「うまい！」サイコー！

海鮮新鮮！  
地酒が進むぜ



そして、来年の大会は我が兵庫・神戸が会場です！

2020年1月11～13日、ちょうど震災から25年。神戸らしい大会、命をつながりを大切にする大会にしたいものです。今から全力で準備をします。皆さんの力を貸してくださいね！

文責：いちいようこ